

報道関係者向け背景情報

世界 COPD デーとは

2008年11月19日(水)は世界 COPD デーです。これは、COPD(慢性閉塞性肺疾患)の研究と啓発に力を入れる GOLD(Global Initiative for Chronic Obstructive Lung Disease (www.goldcopd.org))が主唱し、世界 COPD 患者団体連合会(International COPD Coalition (www.internationalcopd.org))および世界家庭医協会(WONCA)が協力する世界的なイベントです。各国の医療従事者や呼吸器専門医とのパートナーシップのもとに、COPD への注意を喚起するためのさまざまな活動が実施されます。

COPD は多くの方が罹患する呼吸器疾患で、患者とその家族の生活に大きな障害をもたらし、世界中で何百万人もの人がこの病気で亡くなっています。COPD は軽症のうちには病気として自覚されないことが多いのですが、COPD のリスクはスパイロメトリーという検査(スパイロ検査)で簡単に診断できます。早期に診断すれば、肺機能の低下を防ぐ治療が可能になります。

今年の世界 COPD デーのテーマは“**Breathless not Helpless (息切れをあきらめないで)**”です。このポジティブなメッセージは、効果的な治療により、COPD と診断された患者さんが前向きに活動的な生活を送ることが可能であることを強調するものです。さらに、息切れは歳のせいだけではないことを知らせるものです。まだ COPD と診断されていない患者にとって、息切れは、かかりつけ医を受診してスパイロ検査で肺機能を調べてもらうきっかけと言えます。

世界 COPD デーには、下記に示す例のように、各国でさまざまな活動が行われます。

- 行政機関の呼びかけ、ポスター、看板、ステッカー、新聞記事、ラジオ広告などで世界 COPD デー2008 のテーマを知らせる。
- スパイロ検査体験イベントやクリニックでの無料スパイロ検査。
- COPD 患者や家族、友人たちが参加するウォーキング、ランニング、スイミングイベント。
- COPD 患者の活動的で豊かな生活を支援するためのエクササイズ教室、ダンス・パフォーマンス、問題解決ワークショップ、支援グループ会議など。
- COPD への関心を高め、COPD ケアの情報を提供する医療相談や健康フェアの開催。
- COPD 診断・治療に関する最新の国際ガイドラインについての医師、ナース、医療従事者向けセミナー。

この資料は GOLD がホームページ上で提供する英文資料をもとに作成したものです。

(<http://www.goldcopd.com/PlanYourWorldCOPDDayEvent.asp?l1=3&l2=2#4>)

世界 COPD デーの長期的な目標

世界 COPD デーは、医師や公共機関、行政機関に対し、力を合わせて COPD への認識を高めようと呼びかける活動です。一般市民と医療関係者の間で COPD の症状に対する認識が高まれば、症状を持つ人が適切な治療を受けて、肺機能の悪化を食い止めることができます。

最終的には、次の効果が期待できます。

- ◆ COPD の死亡者を激減させる。
- ◆ COPD による入院を減少させる。
- ◆ COPD の新規発症率を低下させる。

これらの目標を達成するための短期的な戦略としては、一般市民に COPD の症状を知ってもらうこと、スパイロメトリーを含む COPD の診断ツールを医療関係者に広めること、COPD 治療薬を利用可能かつ購入しやすくすること、医療機関、医師、患者、家族に効果的な COPD 管理の方法を情報提供し教育すること、環境中の COPD 発症リスクファクターへの接触機会を減らす活動を支援することが挙げられます。

世界 COPD デー2008 に関する詳細な情報は、世界 COPD デーのホームページ (www.goldcopd.org/WCDIndex.asp) および ICC、WONCA のホームページをご覧ください。

この資料および日本での世界 COPD デーの活動に関するお問い合わせは下記までお願いします。

GOLD 日本委員会

ホームページ：www.gold-jac.jp

事務局代行： 株式会社エム・シー・アンド・ピー
本岡／菅原

TEL.03-3597-0175 FAX. 03-3597-0177